



— 都立公園リフレッシュプロジェクト —



令和7年（2025年）2月発行

東京都は、今後10年間に東京が目指す公園づくりの方向性を示すとともに、多様な主体と連携しながら、都民の視点に立った取組を進めていくため、都立公園全体の整備・管理運営の指針となる「パークマネジメントマスタープラン（以下、「マスタープラン」という。）を令和6年3月に改訂しました。

マスタープランでは、成長と成熟が両立した都市・東京の実現に向けて、都民の財産である都立公園のポテンシャルを更に引き出し、都市が抱える様々な課題の解決にも寄与していくことを目指し、「2040年代の都立公園の目指す姿」を目標として設定し、その実現に向けて、以下の考え方を踏まえマネジメントを推進していくこととしました。

- ・それぞれの公園の個性を生かした多様な公園を創出するとともに、全ての公園の質を向上させ、都立公園全体の機能や価値を向上させていく
- ・まちや人々の暮らし等の変化を踏まえ、周辺地域や公園内の環境等との調和を図りつつ、都民ニーズを踏まえたアップデートに取り組んでいく
- ・都立公園を都民と共に創り、共に育てることで、より一層愛着が持たれ、広く親しまれる公園としていく

これらを踏まえ、個々の公園が持つ特性を活かしつつ、誰もが使いやすく楽しめるようリニューアルを行う「都立公園リフレッシュプロジェクト」を展開し、公園の魅力を高めTOKYOの顔にしていきます。

「都立公園リフレッシュプロジェクト」における整備の考え方

リフレッシュプロジェクトは「個々の公園が持つ特性を活かしつつ、誰もが使いやすく楽しめるようリニューアルを行う事業」であり、以下の考え方のもとプロジェクトを進めていきます。

印象的な花の景観を創出します

公園へ訪れることがもっと楽しみにしてもらえるように、各公園を特徴づける植物を用いて魅力的で印象的な景観を創出します。

公園を訪れた人が憩い、長く滞在したくなるような空間を創出します

多彩なベンチや樹林の中にデッキを整備することなどにより、来園者が緑に囲まれて居心地よくゆっくりと過ごせる空間を創出します。

エントランスや園路広場等のまとまったエリアをリニューアルします

来園者の利用の多いエリアや各公園を特徴づけるエリア等を中心に、エントランスや園路広場等のまとまったエリアを改修し、魅力ある空間を創出します。

※ 実施に当たっては、ハード・ソフトの様々な取組を組み合わせることで、更なる魅力を向上していきます。

進め方

- ・本プロジェクトは11公園を対象に実施します。
- ・令和6年度は、代々木公園と小金井公園のリフレッシュプロジェクトを進めるため、基本方針を定めました。
- ・今後、各公園の基本方針を策定し、施設の老朽化等の状況を踏まえ、10年間で順次着手していきます。

令和7年

令和16年

代々木公園

光が丘公園

武蔵野の森公園

木場公園

舎人公園

葛西臨海公園

小金井公園

潮風公園

砧公園

狭山公園

水元公園

代々木公園リフレッシュプロジェクト基本方針

refresh
〈令和7年2月〉

対象エリア

表参道や原宿のまちと公園の結節点となる公園の主要な区域である、原宿門前のエントランス広場から森の噴水やレガシーの森までのエリアをリニューアルすることで、公園全体の魅力を向上させていきます。



整備コンセプト

多様な利用者が都心にいながら豊かな緑をより実感できるよう、くつろげる空間を創出し、持続可能で印象的な花壇を拡大して、TOKYOの顔となる公園としていきます。

1. まちのにぎわいを受け止め、緑を感じながら滞在できる空間を創出

- ・水景施設の再整備
- ・原宿門広場等のリニューアル
- ・緑に囲まれて過ごせる林床デッキの設置
- ・オリンピック記念宿舍エリアのくつろぎ空間への改修
- ・思い思いに過ごせる多種多様なベンチ等休憩施設を設置

2. 多年草を活用し、ローメンテナンスで自然味のある印象的な花の景観を演出

- ・植え替えをしなくても毎年四季の花々が楽しめるサステナブルなナチュラルガーデンの拡大

3. 多様なアートやカルチャーと触れ合う場の提供

- ・水景施設のリニューアルと連動した花や光等の演出による夜間利用の促進
- ・身近にアートに触れられるイベント等の展開

整備エリア

森の噴水

老朽化が進んだ水景施設をリニューアルし、緑に囲まれて演出性の高い噴水を楽しめる空間にします。また、夜間は照明を組み合わせた幻想的な演出を行います。

水回廊は、ミストや水盤で夏季にも涼しく遊べるようにするほか、ベンチを多く設置し、ゆっくり過ごせる空間を創出します。

プロムナード沿いの樹林と広場

ゆったりと歩ける園路に拡幅し、原宿・渋谷の街なかから森へと引き込むプロムナードとしていきます。

デッキやベンチ等の休憩施設の充実を図り、都心の中で緑を感じつつ、快適に滞在できる憩いの空間や、公園に面した歩道と一体となった開放感のある空間としていきます。

森の噴水

レガシーの森

エントランス広場

レガシーの森

オリンピック記念宿舍をリニューアルしてカフェ等を設置するほか、思い思いに過ごせるようなベンチ等を設置し、緑の中で誰もが心地よく過ごせる空間を創出します。

また、オリンピック記念宿舍の前で花や緑をより楽しめるようにナチュラルガーデンをアップデートしていきます。

エントランス広場

待ち合わせや休息など多様な利用がより快適にできる空間を創出するほか、歩道と一体となった広がりある空間としています。

また、神宮の森と調和した印象的なナチュラルガーデンを展開します。

■ 今後の進め方 上記基本方針に基づき、森の噴水とレガシーの森のエリアは令和6年度から工事を進め、その他のエリアは順次設計や工事を進めていきます。

代々木公園リフレッシュプロジェクト基本方針

refresh
〈令和7年2月〉



ナチュラルガーデンイメージ (エントランス広場)



公園に面した歩道と一体となり、開放感のある空間イメージ (プロムナード園路沿いの樹林と広場)



緑を感じる憩いの空間イメージ (プロムナード園路沿いの樹林と広場)



※ 図中の樹木や園路、施設等の形状・配置はイメージです

小金井公園リフレッシュプロジェクト基本方針

refresh
〈令和7年2月〉

対象エリア

公共交通機関を利用して来園する際の主要なエントランスがあり、名所となっている桜や江戸東京たてもの園等、公園を代表する施設を多く有する特徴ある西側エリアをリニューアルすることで、公園全体の魅力を向上させていきます。

整備コンセプト

名所となっている既存の桜や江戸から昭和にかけての歴史的建造物を展示する江戸東京たてもの園などの特徴を生かし、昔から変わらない日本の美しさを感じる印象的な景観を花の魅力を通して創出していきます。

対象エリア



1. 桜に親しみ、緑に包まれて心地良よく過ごせる空間を創出

- ・たてもの園前広場の改修
- ・木々に囲まれて過ごせるウッドデッキの設置
- ・公園西口から桜の園を楽しむアクセスの改修
- ・蒸気機関車展示の改良

2. 公園の新たな花の名所となる藤の景観を演出

- ・長尺の品種等を用いた見応えのある藤の空間を歩いて楽しめる藤棚の整備
- ・木陰で過ごせる休憩施設の設置

3. 江戸東京たてもの園と連携したイベント等の場の提供

- ・夕涼みや紅葉ライトアップイベント等と連携の推進
- ・江戸園芸植物等昔の日本の園芸の魅力を伝えるイベント等の展開

整備エリア

桜の園

桜の保全を進めるとともに、公園の入口や園路の改修を行い、エントランスから江戸東京たてもの園にかけてのアプローチ動線を充実させていきます。

蒸気機関車の広場

かつて蒸気機関車が活躍していた時代を想起させるような展示施設とし、より魅力ある空間を創出します。

桜の園

藤棚の広場

江戸東京たてもの園

たてもの園前広場

蒸気機関車展示の広場

藤棚の広場

藤の成長を見守りながら時間をかけて育成し、見どころとなるような没入感のある藤の景観に育てていくとともに、休憩できる施設を設置し、より快適に利用できる広場としていきます。

たてもの園前広場

旧光華殿前のシンメトリーで特徴ある景観を際立たせるように、アプローチ園路の改修等を実施します。
ノスタルジーを感じる印象的な空間となるよう景観性を向上させます。また、桜により親しみを感じ、ゆっくりくつろげる空間となるよう、林床デッキ等を設置します。

■ 今後の進め方 上記基本方針に基づき、今後設計を進め、令和9年度から工事着手を目指します。

小金井公園リフレッシュプロジェクト基本方針

refresh
〈令和7年2月〉

藤育成後の将来イメージ (藤棚の広場)



桜により親しみを感じ、くつろげる空間イメージ (たてもの園前広場)



※ 図中の樹木や園路、施設等の形状・配置はイメージです